

事業所職員向け

令和4年度 放課後等デイサービス自己評価表（公表用）

どんぐり2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	人数が多いときは場所や活動内容を工夫しながら対応している。中庭があるため、運動の活動時は利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	基準配置は満たしている。個別支援等必要な時は創意工夫をしながら連携を図っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	17%	67%	17%	現状で可能な限り、適宜改善している。改善内容はヒヤリハットや事故報告書を検証しながら、改善につなげている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	67%	33%	0%	児発管が中心となり個別支援計画の内容を振り返り、事業会議後や送迎後の時間を利用して、フィードバックし職員間で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	87%	17%	0%	児発管を中心に送迎時や会議、電話等で話しを行い、常に連携を図り、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	公開している。児発管が結果を職員間に周知し、改善につなげている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%	0%	外部評価はないが、月に一度外部より委員を招いて、生活相談日を実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	0%	センターや外部の研修参加し、自己研鑽に努めている。参加できない職員にはミーティング等で伝達している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	児発管が本人、保護者の意向を尊重した個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	83%	17%	0%	個々の特性にあわせ、ホワイトボード、絵カードなど可視化を重点とし、支援を提供している。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%	0%	児発管を中心に運動、学習、遊育、生活療育などバランスよく活動内容を作成している。職員で意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%	0%	運動、学習、遊育、生活療育などバランスよく活動内容を作成している。職員で意見を出し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	50%	0%	児発管を中心に課題は決めているが、細やかには設定してはなくご利用児にあわせて柔軟に対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	児発管を中心に療育活動、ST訓練など個別、集団活動と組み合わせながら、活動を行っている。また専門職と連携し、作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83%	17%	0%	前日、又は支援前に役割分担を決定、確認し、当日に再度確認をおこなっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83%	0%	17%	必ず、当日の内容を振り返り、気付いた点など職員間で共有している。また休みの職員には出勤時に伝達している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%	記録の記載、書き方について職員間で統一し、児発管を中心に支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	0%	児発管を中心に半年に1回モニタリングを実施している。状況に応じて、見直しをおこなっている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	33%	67%	0%	ガイドラインを基本に組み合わせ、支援を実施している。また、ガイドラインについても児発管が職員に周知を図り、支援に取り入れるようにしている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%	0%	児発管がサービス担当者会議に参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	学校のトラブルや体調不良等情報の伝達を受け、支援に反映している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33%	50%	17%	医療ケア児の受入れは行っていないが、必要に応じて支援統一事項を作成し連絡体制を整備している。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%	現在、児発管がサービス管理業務と併せ巡回支援専門員として、巡回支援を行っている。障がい福祉支援係、子育て支援課と情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67%	33%	0%	児発管が利用前担当者会議等を通して、情報提供をおこない、内容を共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%	0%	児童発達支援センター主催の北部圏域児童発達支援連絡協議会の研修に参加させていただいている。また、必要に応じて、児発管が関係機関との連絡調整を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	17%	50%	コロナ禍のため、交流の機会が制限されたが、社会資源を活用した支援として、買い物や外出の機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	児発管が宇佐市自立支援協議会子ども支援部会に出席している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	関係機関の会議やモニタリング会議に出席し共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67%	33%	0%	保護者にお知らせし、センターにてペアレントプログラムを実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%	児発管が契約時に説明し、適宜問い合わせがあったときは対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%	送迎時に連絡、相談があったときは対応し、また、別途時間を設け、助言等をさせていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	33%	0%	保護者懇談会を実施している。その時に保護者同士の情報共有などが図られている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	児発管を中心に職員間で周知改善を図っている。また、上司に報告し助言をもらい、当日に必ず適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	17%	0%	毎月1回、児発管が作成した送付文書、活動表等配布している。

	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	十分に配慮し、掲載の写真など注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%	言語コミュニケーションが難しいご利用時には視覚カードやデスチャーを使いながらコミュニケーションを図っている。保護者とは日々の連絡帳や必要に応じて児発管を中心として電話連絡を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	50%	33%	コロナ禍のため、実施できていないが、児童の療育の発表の場として「どんぐり広場」を開催しているが、将来的には地域の方との交流の機会としたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	マニュアルは職員には周知しているが、保護者には防犯マニュアルは周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	月1回、避難訓練実施している。訓練後、児童に対して振り返りをおこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83%	17%	0%	センターで外部講師を招き、研修を実施している。また、児発管がセンターで毎月開催される虐待防止委員会に出席している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	児発管が虐待防止委員会に出席し、身体拘束についての協議をおこなっている。児発管を中心に身体拘束解除に向けた会議を定期的実施し、やむを得ない時は保護者に説明し、同意書をいただいている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%	17%	0%	現在は食物アレルギーのご利用児はいないが、児発管が利用前のアセスメントで必ずアレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%	リスクマネジメント委員会で周知した内容を共有し、ファイルを作成し、情報共有に努めている。